



縫合処置の後のこと

● 今後の処置のスケジュール

- 抜糸は一般的に5-10日後に外来で行います。
- 創部の状態・経過を確認しながら時期を決定します。

● 痛みについて

- 縫合処置時に使用した局所麻酔は、1-2時間で効果が切れます。
- 痛みが強くなる場合は、内服鎮痛薬を使用しても良いでしょう。
ただし、鎮痛薬を無制限に使用すると、体に負担となります。用法を守り、それでも我慢出来ない場合は、当院にご相談ください。
- 一般的に、痛みは時間の経過とともに軽くなっていきます。もし、明らかな原因がないのに、痛みが強くなる場合は、傷のトラブル(感染など)が起こっている可能性があります。傷の赤みや腫れがひどくはないか、膿などが出ていないかを確認してみましょう。

● 家での過ごし方

- 傷に負担をかけないように静かに過ごしましょう。
- 習い事・運動などの可否は、主治医に確認してください。
- 傷の処置について
 - ・ 家に帰ってから、滲むような出血がみられることがあります。まず、清潔なティッシュやガーゼなどで傷を5-10分間しっかり押さえてみましょう。
 - ・ 傷を覆うガーゼやテープ保護剤は1日1回、または、汚れた場合に交換してください。
 - ・ 交換の際、消毒の必要はありませんが、清潔に保つことは重要です。縫合してから12時間後からは、1日1回 流水で洗浄してください。
 - ・ 洗浄の際は、よく泡立てた石鹸などで撫でるように洗い、しっかり流水で流します。
- 入浴について
 - ・ 縫合して48時間以上経過すれば、湯船に浸かっても問題ありません。
 - ・ ただし、プール・温泉などの公共の施設の利用は、次回外来までおすすめしません。

● こんなとき、ご相談ください

- 痛くて我慢できない
- 傷からの出血がひどい
- 傷が開いてしまった
- 強く腫れている
- 傷の周りが赤い
- 傷から膿が出ている

